



2025 年 5 月 28 日

各 位

会 社 名 トヨタ自動車株式会社
代 表 者 取締役社長 佐藤 恒治
(コード番号 7203 東証プライム・名証プレミア)
お問合せ先 資本関連事業部長 森山 由英
(TEL. 0 5 6 5 - 2 8 - 2 1 2 1)

ISS 社の議決権行使助言に対する当社の見解について

2025 年 6 月 12 日開催予定の第 121 回定時株主総会に付議する「第3号議案 監査等委員である取締役4名選任の件」(以下、「本議案」)に関し、議決権行使助言会社の Institutional Shareholder Services Inc. (以下、「ISS」)が候補者番号2の George Olcott 氏の選任に対して、反対推奨するレポートを発行しました。

本議案に関する候補者の選任理由等は、招集ご通知に記載の通りですが、あらためて下記の通り、当社の見解を補足説明させていただきます。

記

1. ISS の反対推奨の内容

ISS は、本議案における候補者番号2の George Olcott 氏の選任について、同氏が当社の社外監査役に就任する前に、当社を含む3社が出資し、設立した学校法人のアドバイザーとして、コンサルティング報酬を得ていたことをもって、ISS の独立性基準を満たさないとし、反対推奨しています。

2. 当社の見解

当社は、ステークホルダーの皆様からいつまでも選ばれる会社であるために、取締役が知見・専門性を最大限に発揮し、目指す未来に向けて皆さまとともに成長していくことに資する取締役会を目指しています。取締役会における社外取締役の役割は重要であり、当社の経営判断・意思決定の過程で、業務執行から独立した立場から、豊富な経験と知見に基づいた助言をいただいております。

社外取締役の選任にあたっては、「トヨタフィロソフィー」への共感、当社の事業および人材への高い関心などをもとに候補者を選定し、社外取締役が過半数を占める役員人事案策定会議において、候補者との直接面談を含めた評価を行うなど、丁寧な選任プロセスを整えています。

George Olcott 氏は、投資銀行業務をはじめとする国際的な金融市場での豊富な経験と、グローバル経営における人材育成およびコーポレートガバナンスに関する学術的知見に基づいた、企業経営に関する卓越した見識を有しています。また、こうした経験・見識に基づいた日本企業の価値向上をテーマとした学術研究において、高い実績があります。加えて、株式会社デンソーにおける取締役の経験を通じて、トヨタグループの取り組みを理解しています。

これらの知見を活かして、2022 年より社外監査役として、会社から独立した立場で、当社や国内・海外子会社の現場を積極的に訪問し、当社が大事にする価値観のひとつである「現地現物」に根差した適切な監査を遂行しています。2024 年度は、トヨタテクニカルセンター下山、田原工場、トヨタ自動車九州に加え、フランス、トルコ、インドの海外製造事業体への視察等を含め、合計 27 回実施しま

した。加えて、グローバル経営の視点からも多くの助言を行っており、世界の地域ごとにバランスの取れた事業の重要性への指摘や、グローバルな投資案件の進め方等について、取締役会をはじめとする様々な場面で、積極的に発言しています。また、海外子会社の現地の役員との面談にも積極的に取り組み、意見を吸い上げています。このように、監査にとどまらず、企業価値向上に向けた活動・発言を積極的に行い、適切な経営の意思決定に貢献しています。

当社は George Olcott 氏と 2020 年 6 月から 2022 年 3 月までの間、当社が賛同している次代のリーダー育成を目的に設立された中高一貫校(海陽学園)の理事として、学校運営の国際化に向け、アドバイザー契約を締結していました。年間報酬額は 1,200 万円、上記期間での報酬総額は 2,200 万円です。同氏との本契約は3年前の 2022 年 3 月に終了しています。また、以降は、社外役員としての報酬を除き、同氏との取引関係は無く、重要性がないことから、一般株主と利益相反が生じるおそれがないと判断しています。

以上のことから、企業経営に関する見識、トヨタグループへの理解を活かして、会社から独立した立場で、引き続き業務執行の監督と執行メンバーへの率直な指摘、助言をいただくとともに、監査等委員として適切な監査を担えと判断し、監査等委員である社外取締役候補者となりました。

以 上